



編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

無料生活相談所
菅井 巖
中 桶 9 6
33-0534

長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993

加藤 鋺一
宝徳仲田56
64-3941

「他自治体にあるような無料で遊べる大型の屋内遊戯施設がほしいとの市民の要望だ。市当局は、議会の審査経過を受け、修正を表明し、最善策を深めるプロセスだった。

「子どもの遊び」は、「国連子どもの権利条約」でも定めている。「子どもとの遊び」は、

「国連子どもの権利条約」でも定めている。市民連携の信頼性を高め、市が関与できる体制の土台づくりとなる」と述べました。

経済格差なく、すべての子どもが平等に遊びにアクセスできるように、「遊ぶ権利」を最優先に考えるべきです。

6月定例会に出された市民の請願は、2件とも、賛成少数で不採択となりました。

「ソライ」利用を無料にすべき

子どもの「遊ぶ権利」を最優先に！

2025年6月議会 賛否が分かれた議案 (○賛成 ●反対)

	声	SDG	フォ	共産党	リベ	希望	公明党	創政	クラブ	尾形昌彦議長
令和7年度補正予算から、遊び場無料実証事業費を削除	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
「辺野古新基地建設を直ちに止め、普天間基地の危険除去を早急に実現することを求める請願」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める請願」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

鶴岡市議会6月定例会で焦点になった問題は、3月議会に続き、「キッズドームソライの無料化」です。令和7年度一般会計補正予算のうち、「子どもの遊び場利用料軽減実証事業」の削除に賛成が14人、反対が10人で、無料化は実現できませんでした。

削除に賛成の議員からは、子育て支援の重要性を言いながら、「民間企業への公的支援であり、受益者負担の原則からも利用料金制にすべき」、「広い市域であり、取り残される子どもが出る

共産党市議団を代表し、菅井巖議員は、無料化反対の議員には、「どうすれば、ソライの無料化を一刻も早く実現できるか」の意見はありません。

日本共産党市議団 6月議会の議会質問

【総括質問】



坂本昌栄議員



坂本昌栄議員

- ①鳥獣対策 問 電気柵設置は早めの対応を。市長 庁内及び県と協議する。
- ②子どもの遊び場
- ③トランプ関税の影響
- ④米価高騰
- 問 所得補償の復活が必要だ。

市長 農業の多面的機能の観点からも、所得政策に期待する。

【一般質問】



加藤鋺一議員



加藤鋺一議員

- ⑤デジタル教育
- ①藤島地域の義務教育 学校 問 「9年後の姿」が先にあるより、子どもが日々、本心に「楽しんで」学校にすべき。

教育長 楽しいと感じられる学校生活が土台となり、子どもたちの主体性が発揮されることが大切。

②藤島川と京田川の水害対策



菅井 巖議員



菅井 巖議員

- ①生活保護 問 生活扶助・夏季加算を国に求めるべき。健康福祉部長 今年度4月から、生活扶助費が1000円から1500円に加算。
- ②訪問介護事業

問 介護報酬引き下げ前との差額の支援を。健康福祉部長 国の介護報酬の適正性が問われる可能性がある。

③高館山遊歩道



長谷川剛議員



長谷川剛議員

- ①不登校生徒への支援 問 保護者も安心できる政策が必要だ。教育長 別室や校内教育支援センターは、県から小学校の学習指導員が4人、中学校の別室学習指導教員が2人が配置されている。

坂本昌栄議員



坂本昌栄議員

- ①学校給食
- ②就学援助 問 子どもの貧困の実態を調査すべき。教育部長 就学援助のなかで把握する。
- ③サービズB事業
- 問 8人以上などの要件を緩和すべきだ。健康福祉部長 人数要件を優先的に検討。

市民の願い 皆川市長に申し入れ

日本共産党鶴岡市議団が行っている市民アンケートに7月末まで232通の返信が寄せられました。日本共産党鶴岡市議団は、7月29日、アンケート集計結果を皆川治市長に届けるとともに、アンケートに基づく13項目の要望をおこないました。
みなさんの声を活かし、実現のためにがんばってまいります。



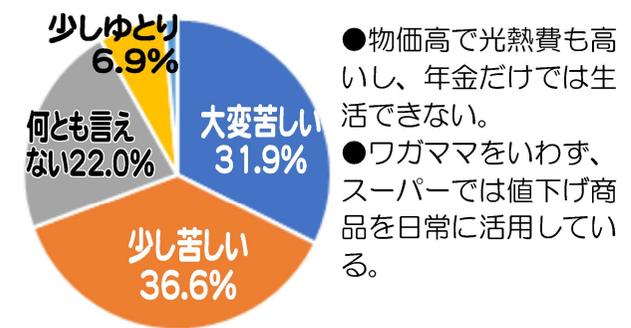
7月28日、皆川市長(右から2人目)に要望する党鶴岡市議団と五十嵐地区委員長

市民アンケートに基づく市政への要望

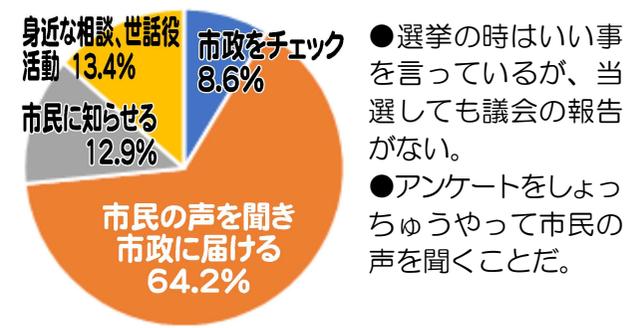
1. 経済的負担の軽減など子育てを支援し、子どもが生き生きと学び、将来に希望を持てる施策の充実に努めること。
2. 小・中学校の過度な学力競争を是正し、不登校児童・生徒の居場所（校内教育支援センター・教育支援センター等）のを図る事。通級指導の拡充など特別支援教育の充実に努めること。
3. 学校給食は自校方式への転換を前向きに検討しながら、学校給食センターの場合も集約は行わない事。オーガニック給食の利用拡大を図る事。
4. 放課後児童クラブの利用料軽減、老朽化した施設は公設による整備を図る事。
5. 市民の命と暮らしを守る包括的な医療・介護・福祉体制構築を、市民負担軽減に努めながら推進すること。訪問入浴・訪問介護事業に緊急に支援をおこなってサービスを確保すること。
6. 農林水産業、地元企業・協同組合などを地域経済の基盤として重視し、地域内の経済循環を豊かにする経済政策を進めること。農林水産業の担い手支援を強め、家族経営・中山間地農業を大切にし、農林水産業に関連する生産額の拡大と所得の向上を図ること。中小企業振興条例・公契約条例の制定を図る事。
7. 再生可能エネルギーについて、環境保全、市民合意を前提に、地元組織による地域産業として発展させること。エネルギー自給を高め、原発に依存しない社会をめざすこと。
8. 地球温暖化対策事業を拡充すること。
9. 災害に強い町づくりを進めること。避難所の整備と運営体制充実、防災資機材等の拡充を図る事。
10. 合併がもたらした市民生活への影響を直視し、まちづくり振興基金充実を始めとして旧町村予算を拡充するとともに住民の声の反映を進めること。
11. 慶応大学先端生命科学研究所の支援について、地域経済振興と雇用拡大という当初の目的に照らしてあり方を引き続き検討し、成果に見合った支援に見直していくこと。
12. 市内循環バスの充実と夜間タクシーの確保を図ること
13. 解体費補助の要件緩和など、空き家対策を進める事。

アンケート結果をお知らせします

生活が苦しい68.5%



市議会議員に望むこと



市政が力を入れるべきこと

1	医療・介護・福祉サービス	67.2%
2	国保税・介護保険料など負担軽減	63.4%
3	子育て支援	36.6%
4	農林漁業対策	28.4%
5	生活交通確保	26.7%
6	情報公開、公平・公正な市政	25.9%

●子育て支援に力を入れるのは少子化なので悪いとは思わないですが、国保税・介護保険料などの負担軽減を。
●1人1人の個人を尊重した人間を大切にする教育。
●高齢により車の免許返納を考えたいが生活交通に不安。



子育て支援・教育について望むこと

1	返済の必要のない奨学金制度	40.1%
2	いじめ対策、体罰の根絶	38.8%
3	不登校児童・生徒の対策	34.1%
3	無料の遊び場確保	34.1%
5	困ったことなど相談できる窓口充実	31.5%
6	学童保育の充実・利用料軽減	31.0%

●学童の利用料が高い。親の仕事でどうしても保育できなく学童を利用しているので無料にしてほしい。(一律でなく)
●無料で遊べる所がないので、少し遠出して天童等まで遊びに行く。無料の遊び場がすごくほしい。



医療・介護・福祉について

1	国保税・介護保険料などの引き下げ	53.0%
2	医療費・介護保険料の軽減	47.0%
3	医師・看護師などの確保	44.0%
4	入院・介護施設の確保	38.4%

●介護施設が空いていない。空いていても高いから入れないと良く聞くので、介護を在宅で行う家族は大変。
●介護施設の料金が高すぎる。



皆さんの願い実現に頑張りますー日本共産党鶴岡市議団